

ヴェルダ・マーヨ通信

NO. 2

2017.12.10

治安維持法犠牲者・長谷川テル顕彰会(仮称)事務局

☎/F0742-61-7194

長谷川テルが眠る中国・ジャムスへの
墓参の日程決まる

2018年8月23日(木) 出発5泊6日の
旅を実施することを決定しました。詳しい日程

治安維持法犠牲者・長谷川テル顕彰会(仮称)
の奈良県準備会第四回会議

12月8日、第4回会議を行いました。

出席：宮城恭子、田辺実、加藤宣之、越山のぶ子、西久美子、平井富勝の各氏。JU観光合同会社の尾川理江さんも参加。

会議では、田辺実行委員会事務局長が報告と提案。JU観光合同会社の尾川理江さんから来年8月のジャムスへの墓参の日程等について説明を受け検討・決定しました。(日程は別項)

また、この会議では、長谷川テルの顕彰事業に関心を寄せていただく方々から、共感と激励の声が寄せられていること、顕彰事業実行委員会の呼びかけ人になって頂ける方が全国的に広がっていることが報告されました。

中国・ジャムスへの墓参の旅の
日程等を決定



合唱版【ヴェルダ・マーヨを初披露する奈良蟻の会合唱団。

9月18日、生駒市で。記事は2～3面。

等は希望される方に別途お知らせします。事務局までご連絡下さい。

国賠同盟奈良県本部が呼びかけ、日中大阪府連、国賠同盟大阪府本部などの協力のもとに、全国に呼びかけ20人〜25人の墓参団を募ります。墓参の旅の案内書は年内に確定し発表します。

「テル ヴェルダ・マーヨ通信」の

編集・配信について

第4回実行委員会で、「ヴェルダ・マーヨ通信」(仮称)を発行することを確認しました。発掘される文献・史料、寄せられる資料を適宜、長谷川テルの顕彰事業に関心のある人を対象は不定期刊でメール配信します。皆さんからの、感想・ご意見、史料等のご提供をお願いします。

共感広げる

【長谷川テルの歌】

十一月二四日に石川県津幡町文化会館シグナスで行われた「日本のうたごえ祭典北陸・いわのオリジナルコンサート」での【希望の鳩ヴェルダ・マーヨ 長谷川テルの歌】の合唱に反響が広がっています。この祭典で合唱した奈良蟻の会合唱団々長の田中輝男さんから寄せられた感想です。

「ヴェルダ・マーヨ」を通じて、長

谷川テルの功績を多くの方々に伝え

ていきたい

(奈良蟻の会合唱団 団長 田中輝男

シンガーソングライターのケイシユガーさんが作られた「ヴェルダ・マーヨ」を合唱編曲にして歌ってもらえないかと、田辺会長からご相談があったのは今年の三月ごろだったと思います。原曲がとても素敵な歌だし、みんなで歌うのであれば合唱でなくともいいのではないですか、とお伝えしました。それでも田辺会長は「ぜひ合唱で」と、強く要望されましたので、四月の終わり頃に作曲家の水野直美先生に編曲をお願いし、八月の初めに合唱版「ヴェルダ・マーヨ」が完成しました。感動的でスケールの大きな合唱曲に仕上がっていて、ぜひ、早く演奏したいと九月一八日の「奈良のうたまつり」で蟻の会が初披露しました。聴衆による投票の結果、「ヴェルダ・マーヨ」は日本のうたごえ祭典北

陸・いしかわのオリジナルコンサートへの推薦を受けることができました。

十一月二四日に石川県津幡町文化会館シグナスで行われたオリジナルコンサートはこの一年間に全国で創作された歌が一堂に集まり発表される機会、「ヴェルダ・マーヨ」を全国に広める絶好の機会でした。お母さんがエスペラントイストという女性からは蟻の会がこの歌を歌

う経緯を教えてほしいと尋ねられたり、他の歌よりも印象的だったという感想をいただくといった反響もありました。

戦争を題材にした歌は数多くありますが、「ヴェルダ・マーヨ」は戦争における抵抗の側面に光を当てたという意味において貴重な作品ではないかと思えます。来年三月の五〇周年記念シンポジウムでの演奏をはじめ「ヴェルダ・マーヨ」を通じて、長谷川テルの功績を多くの方々に伝えていきたいと思っています。

奈良蟻の会合唱団機関紙「ありにゆうす」第1097号(2017.10.7)に掲載された、元奈良蟻の会合唱団団員 田畑昭子さんの「蟻の会演奏の【ウ、エルダ・マーヨ】を聴いて」と題したエッセイを田畑さんと蟻の会の了解を得て転載します。

【ヴェルダ・マーヨ】の演奏に圧倒され感動

元蟻の会団員 田畑昭子

蟻の会ML(メーリングリスト)情報にあった《長谷川テル》・・・どこかで出会った名前だけ・・・思い出せない。エスペラントイストだとの説明に、ようやくおもいだした。

ずっとずっと前のこと、「英語は国際語」と英語教育の意義が喧伝される中、「そんなバカな！国際語にはエスペラント語があるじゃないか」と、ひっそりと一人で触れていた時期があった。ともに学びあう仲間がいるわけでもなく、文通しあうでもなく、国籍も文化もまたな

いこの人造語を、まったくの自己流で独学していた。そんな折、中国現代史書籍の中に、エスペラントイスト緑川英子、日本名長谷川テルの名をみつけた。エスペラントの考案者・ザメンホフがめざした《世界の人々との友愛と平等》の精神に、テルさんが共感し、エスペラントイストになったのはごく自然の成り行きだったと思う。そして彼女は語学仲間の劉仁と、中国で抗日宣伝活動に従事、日本向けの反戦放送を担当した。わずか三五年間の短い人生を、めいっばい生き抜いた人だった。

テルさんの遺児・長谷川暁子さんは中国共産党によって「烈士遺児」として育て上げられたが、二五年前日本国籍を取得され、七〇歳のいまは、日中間の平和の架け橋として活躍されている。

前置きが長くなりましたが、胸中奥深くにあった想いがMLを読んで一挙に吹き出してしまい、どうしてもこの曲を知りたくて、あつかましくも蟻の会自主練習時にこっそりめぐりこんだのですが、つまみ出されることもなく、おかげでこの曲を学ぶことができました。この素晴らしい蟻の会のみなさん、ありがとうございます。

テルさんの没後七〇年のいま、彼女を讃える曲が蟻の会有志によって演奏されていることに、蟻の会ならばこそできるのだと納得しつつ、どうかこの曲をひろめてほしいと、強くねがわずにはいられません。

うたまつりの舞台上で演奏される皆さんの声・姿に圧倒され感動しながら、次回は楽譜をもたない演奏スタイルに会えるといいなと思えました。

顕彰委員会準備会（仮称）の呼び

かけ人の皆さん

（11月8日現在、アイウエオ順）

長谷川テル顕彰事業準備会の呼びかけ人が全国的に広がってきました。十二月十日までに呼びかけ人になっていただいた方々を紹介します。

小笠原淳子（奈良女子大学卒業、愛知県）
加藤 宣之（国賠同盟奈良県本部事務局長）
神林 規子（奈良女子大学卒業、日本民主義文学会会員、大阪府）
黒田 貴子（奈良女子大学卒業、歴史教育者協議会）

越山のぶ子（国賠同盟奈良県本部理事・治安維持法犠牲者遺族）

田 中 郁（奈良女子大学卒業、奈良蟻の合唱団所属）

田中 輝男（奈良蟻の合唱団団長）

田 辺 実（国賠同盟奈良県本部会長）

西 久美子（奈良女子大学卒業、奈良県葛城市）

平井 富勝（日中友好協会奈良支部会員）

藤井 聖仁（浄土真宗本願寺派明光寺住職・奈良宗教者平和協議会副理事長）

宮城 恭子（奈良県アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会会長）

山田麗子（歴史教育者協議会）

由井鈴枝（奈良女子大卒業、千葉県）

大阪から5名の方が

日中友好協会大阪府連から5名が呼びかけ人になっていただけるとの連絡をいただいています。次の方々です。

渡辺 武（たける）（日中友好協会大阪府連合会会長）

小林 徳子（日中友好協会大阪府連合会副会長）

山本 恒人（つねと）（日中友好協会大阪府連合会副会長 大阪経済大学名誉教授）

松尾 豊（日中友好協会大阪府連合会理事長）

平松 悦雄（日中友好協会大阪府連合会常任理事）

引き続き、推薦いただける方をリストアップして、広く要請することを確認しました。

長谷川テルは、奈良女子高等師範学校の時代から短歌を詠じていました。この作品は、「校友」第八號（奈良女子高等師範学校校友会 1931・7）の「短歌」欄に掲載されているものです。「晩春初夏誦」より抜粋です。

「晩春初夏誦」抄

てる

髪あまた櫛にまつはる朝な〜

肅々として母をしおもふ

はたと閉ぢしその瞳かも夜となれど

君が部屋には灯もまた〜かず

灯あまたまた〜く中にしんとして

暗く冷たき一つ部屋ぞも

ほそ〜と今日も小雨の降りしきる

藪蔭に紅き落椿かも

送られて行くは誰ぞも佇みし

まがきがもとに紅椿一つ

春逝く大和み寺の夕間暮

かたりことりと段を下り來も

若葉香る夕べしまふや紫の袂に

あせし櫻葩

陽うら〜木の葉微風にさ〜めきぬ

草にまろべば青き感觸

赤松の木肌を照らす夕陽影

かさこそと紙喰ふ鹿一つあり

燃え〜し陽もいつしかに隠ろひて

薄紫に山黄昏る〜

霧小雨そは濡れつゝ山坂を

たどれば和むこの心かも

菩提樹の數珠など求め小夜更に

つまぐりみつゝ微笑める人

一夜濡れて緑葉は美しき山の朝

讀經きゝつゝ外の面見やりぬ

冷々と石より傳ふ海の夜

島浪にまぎるゝ旅の歌かな

どどどつと大波立ちねあまりにも

静けき海は狂ほしきもの

青葉若葉光かゞよふ丘の上に

故夢^{フル}むなし城たゞに立つ

紀のくにの五月半ばの旅の夕

春夫の詩など吟みけり